

# まるごと台湾フェア2022

台湾の文化や特産品などを紹介します。

日時：9月10日(土) 10:30～16:00 (予定)  
会場：阿佐谷地域区民センター (杉並区阿佐谷北1-1-1)  
JR中央線 阿佐ヶ谷駅より徒歩5分  
車でのご来場はご遠慮ください。



昨年の様子

## 杉並区交流自治体 静岡県南伊豆町は魅力がたくさん!

南伊豆町は、静岡県の伊豆半島最南端に位置する人口約7,800人の町です。町の三方が海に囲まれており、温暖な気候に恵まれているため、年間を通して海の幸や山の幸を両方とも楽しむことが出来ます。また、伊豆半島はユネスコ世界ジオパークに認定されており、海底火山の作り出した荒々しく雄大な景観もご覧いただくことが出来ます。そんな南伊豆町のこの夏おすすめスポットをご紹介します。

まずは、町を代表する海水浴場である「弓ヶ浜海水浴場」です。杉並区民の皆様には、小学校の移動教室や弓ヶ浜クラブのご利用で大いに親しまれている場所ではないでしょうか。その名のとおり緩やかな弓なりの弧を描いた形をしている弓ヶ浜は、全長約1.2kmの海岸美が特徴で、白砂青松の景勝地としても知られています。また、「日本の渚百選」や「快水浴場百選」にも選ばれています。左右が岬で守られており波の浸入を抑えてくれるため、波が穏やかで遠浅になっており、お子様と一緒に安心して遊ぶことができます。今年度は7月23日(土)から8月21日(日)が海開き期間となっております。(1)



続いてご紹介するのは、「石廊崎」です。石廊崎は南伊豆町の中でも最

南端に位置しています。太平洋に突き出ているため、東に相模湾、西に駿河湾を一望できる伊豆を代表する景勝地です。石廊崎には、「石廊崎灯台」をはじめ、海の守り神として信仰を集め海上交通等のご利益があると云われる「石室神社」や、縁結びのご利益があると云われる「熊野神社」など、多くの見どころがあります。石廊崎オーシャンパークの休憩棟内には、南伊豆ジオパークビジターセンターや食堂も併設されており、夏に嬉しいソフトクリームや干物定食といった軽食をお楽しみいただくことができます。



その他にも、渡船でしか行くことのできない本州唯一の透明度を誇る秘境「ヒリソ浜」や、豊富な湧出量を誇る「下賀茂温泉」、静岡県内で漁獲高トップを誇る「伊勢海老」など、南伊豆町内には楽しいもの、美しいところ、美味しいものがまだまだ沢山ございます。魅力たっぷりの南伊豆町へのお越しをお待ちしております。

南伊豆の観光情報はこちら (一社)南伊豆町観光協会【<https://www.minami-izu.jp/>】  
(1) 新型コロナウイルス感染症の影響により変更になる場合があります。

南伊豆町役場  
商工観光課観光推進係  
鈴木 亜実

コミュかるショップより「南伊豆バス」クーポン付の南伊豆ガイドブック(500円)を販売中!

## Event Information from SACE 交流イベント情報

開催時期	イベント名	イベント内容	開催時間	場所	
7月	7/11(月)～15(金)	南相馬市写真展	「相馬野馬追」の写真展	8:30～17:00	区役所1階ロビー 区役所2階区民ギャラリー(全面)
	7/19(火)～20(水)	青梅市観光展	青梅市の特産品販売	10:00～15:00	区役所 中杉通り入口前
	7/19(火)～22(金)	青梅市写真展	青梅市の観光写真展	8:30～17:00	区役所2階区民ギャラリー(全面)
	7/24(日)	おぢやフェア	小千谷市の特産品販売	11:00～13:30	小千谷学生寮(井草4-16-23)
8月	7/28(木)	吾妻の朝市	東吾妻町の特産品販売	10:00～14:00	区役所 中杉通り入口前
	8/19(金)	忍野村物産展	忍野村の特産品販売	10:00～14:00	区役所 中杉通り入口前
	8/25(木)	吾妻の朝市	東吾妻町の特産品販売	10:00～14:00	区役所 中杉通り入口前
	8/28(日)	おぢやフェア	小千谷市の特産品販売	11:00～13:30	小千谷学生寮(井草4-16-23)
8/29(月)～9/2(金)	小笠原村写真展	小笠原村の写真展	8:30～17:00	区役所1階ロビー 区役所2階区民ギャラリー(全面)	
9月	9/1(木)～2(金)	北海道名寄市一足早い秋の収穫祭	名寄産とうもろこし等の販売	10:00～14:00	区役所 中杉通り入口前
	9/5(月)	南伊豆町観光物産展	南伊豆町の特産品販売と伊勢海老の味噌汁試食サービス(11時から)	10:00～14:00	区役所 中杉通り入口前 区役所1階コミュかるショップ前
	9/9(金)	南相馬市物産展	南相馬市の特産品販売	10:00～14:00	区役所 中杉通り入口前
	9/12(月)	小千谷ふるさと市場	小千谷市の特産品販売	10:00～14:00	区役所 中杉通り入口前
	9/22(木)	吾妻の朝市	東吾妻町の特産品販売	10:00～14:00	区役所 中杉通り入口前
9/25(日)	おぢやフェア	小千谷市の特産品販売	11:00～13:30	小千谷学生寮(井草4-16-23)	

物産販売はいずれも雨天実施。売り切れ次第終了となります。マイバッグ(買い物袋)をご持参ください。新型コロナウイルス感染症の状況により、中止となる場合がございますので、ご注意ください。 問合せ：区役所文化・交流課交流推進担当 03-3312-2111(代表)

## 交流協会の会員になりませんか? 杉並区交流協会では、国内・国際交流の推進をはかるために、様々なイベントを企画しています。あなたも会員になって、楽しく交流しませんか?

年会費	会員特典	申込方法
・個人会員 1,000円/年 (9月以降入会の場合は初年度に限り500円) ・法人会員 20,000円/年	① イベントの情報や交流に関する情報紙[交流ニュース・NEWS LETTERなど]をお届けします。 ② 協会が実施するイベントに優先的に参加できる会員枠があります。 ③ イベント参加費に会員割引があります。	入会希望の方は杉並区交流協会まで申込書類をご請求ください。
・会員期間 入会の月から3月31日まで(当年度末)		

# すぎなみ交流ニュース

Suginami Cultural Exchange News

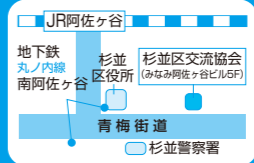
第65号  
2022年7月

スギナミ 교류 소식  
杉並的 交流 消息

発行：一般財団法人 杉並区交流協会  
[Suginami Association for Cultural Exchange(SACE)]  
〒166-0004 東京都杉並区阿佐谷南1-14-2 みなみ阿佐ヶ谷ビル5階  
[Minami-Asagaya Bldg. 5F 1-14-2 Asagaya-Minami, Suginami-ku, Tokyo 166-0004 Japan]  
TEL.03-5378-8833 FAX.03-5378-8844 E-mail :info@suginami-kouryu.org

<https://suginami-kouryu.org/>

◆年4回発行◆ 協会情報誌は区内施設窓口、区内の駅広報スタンドなどに置いてあります。



HP・Facebook 随時更新!!



### 目次

- 防災について学ぼう! ..... 2
- 外国人等児童・生徒に対する日本語教育推進事業の取組 ウクライナ緊急支援寄附金 ..... 3
- まるごと台湾フェア2022 杉並区交流自治体の情報 ..... 4

## 国際理解講座 駐日ウズベキスタン共和国大使夫人の「ウズベク料理教室」開催!!

5月13日(金) 於：阿佐谷地域区民センター 企画 日本ウズベキスタン文化センター

杉並区は東京2020オリンピック競技大会を機にウズベキスタンとホストタウン交流をはじめました。その一環として開催された「ウズベク料理教室」についてご報告します。講師は駐日ウズベキスタン共和国大使夫人ザファリさん、そして通訳兼サポート役は長女ガウハルさんが引き受けてくださいました。お二人のやり取りに参加者からは、「普段の母子の会話も聞けて、家族はみな世界中同じだなあと、とても微笑ましく思えました」との感想も聞かれました。(広報T)



ウズベキスタンの器に盛りつけたお料理

メニューは家族や友人が集まるときに振舞われるという伝統料理「プロフ」(炊き込みご飯)。そしてプロフに欠かせない玉ねぎのサラダと手作りパンの3種類。プロフは玉ねぎを色づくまでじっくり炒めるところから始まります。次に牛肉とにんじんを加え、最後にお米、そしてクミンで風味付けをして炊きあげます。今回は牛肉を使用しましたが、羊肉や馬肉、鶏肉を使うこともあります。男性たちには羊肉、子どもたちには鶏肉のプロフが好まれるとのことでした。



### 「日本のおじいちゃんとおばあちゃん」

ザファリさんと子どもたちが、札幌で暮らしていたお父さん(現駐日ウズベキスタン大使)に合流したのは20年前のこと。ガウハルさんは生まれて3週目のことでした。言葉も分からぬ異国で子育てをするザファリさんを助けてくださったのが、お隣に住むご夫婦でした。ザファリさんからこんなお話を伺いました。

「困ったときはいつもお二人が助けてくださいました。子どもが病気になったときは、上の子を預かってくれて、ごはんも食べさせてくれました。私たちにとってお二人は日本のおじいちゃんとおばあちゃんです。

大変だったのは子どもたちの給食でした。イスラム教徒は豚肉を食べることができません。給食の献立表を見て、豚肉が入った献立の日、見た目が同じような料理を作って持たせました。でも、こんなにやくとかタケノコなど見たことも食べたこともない食材があつて、おばあちゃんに聞いたり、スーパーの総菜コーナーでどんな感じのお料理なのかを見て作りました。

お母さんの心配りをガウハルさんはしっかり受け止めていました。「今と違ってYouTubeもなかったので本当にたいへんだったと思います。子どもだからみんなと同じものが食べたいだろうと、頑張ってくれたんだと思います。」

「お二人に出会って日本人が大好きになりました。宗教とか関係なく、お二人が分け隔てなく接してくださったことに感謝しています。お二人は子どもたちを孫のようにかわいがってくれました。どこでも一番大切なことは理解し合おうとする心だと思います。(ザファリさん)。



### ご存じでしたか?

日本ウズベキスタン文化センター代表のアミノワさんから、ご自身が書かれた絵本「アミノワと兵隊さん」の紹介がありました。首都タシケントにある「ナヴォイ劇場」は、第2次世界大戦後に抑留された日本兵が建設に携わりました。1966年の大地震で市内のほとんどの建物が倒壊するなか劇場は無傷でした。日本の建築技術と抑留の身でありながら、「後世に残る劇場をつくる」と作業を担った日本兵を尊敬するとの声が聞かれたそうです。「アミノワさんのお話を聞いて、日本とウズベキスタンの関係を初めて知り、日本人はもっとウズベキスタンについて、知るべきだと思いました。」(参加者)



ザファリさん(中央)ガウハルさん(右)アミノワさん(左)



最初に全体の流れについて説明

### 参加者から寄せられたコメントの一部をご紹介します。

- ・サラダの味付けが塩とコリアンダーだけなのに、驚きのおいしさでした。大使夫人の教え方が愉快で楽しい時間を過ごせました。
- ・日本にある食材でウズベキスタン料理が作れることがわかって驚きでした。ウズベキスタン料理はおいしく、作るのもとても楽しかったです!
- ・料理だけでなく、ウズベキスタンと日本の繋がりが文化にも触れることができ、とても有意義でした。

